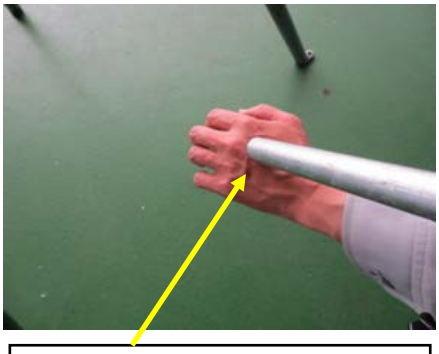
安 全 衛 生 作 業 シ ー ト

ユ ニ ッ ト	給湯・温水配管 給湯・温水配管１（給湯配管） 給湯・温水配管２（温水暖房）	分類番号	HU402-0140-1 HU402-0051-1 HU402-0052-1

作 業 内 容	安 全 衛 生 作 業 の ポ イ ン ト
安全一般	・取り付け作業は共同作業となるため、作業場の状況に合わせ作業の分担など十分な計画をたて安全対策を行うこと。 ・使用工具、道具の点検をすること。 ・工具、道具を正しく取り扱うこと。 ・作業場は常に整理しながら、作業を行うこと。 ・保護具の着用をすること。
動力ねじ切り作業	・鋼管をチャックの中心にしっかりと取り付けをすること。 ・次の作業をするときは回転が止まってから作業をすること。
トーチランプ取扱い	・ガスボンベの取替えは人前などをさけて通風の良いところで行うこと。 （逆止め弁のないボンベのガストーチの取替えは残ガスが流出するので、特に気をつける） ・取り付けはロックナットで確実に固定すること。
脚立作業	・脚立の使用は滑り止めを行い、脚立を安定させ、開き止め金具を掛けること。 ・脚立作業は不安定な作業姿勢をとらないこと。 ・補助者を配置すること。 ・状況により命綱の着用をすること。

災害事例：
・ガストーチのカートリッジボンベを交換中に残ガスが漏れて、引火して髪の毛を焦がした。
・砂曲げ作業で砂の乾燥が不十分であったため、加熱により蒸気が噴出して火傷をした。

・パイプカッタを使用した作業における災害事例
　ーパイプカッタで切断したところ切り落とした側の鋼管が落下し手の甲に接触し負傷した。
　（症状：手の甲挫創　３針縫合）
　　→切断した鋼管を落下させることは危険であるため、切り離す側の鋼管を保持すること。
　　→作業中には保護具を着用すること。



落下した鋼管が手の甲に接触

・電動ねじ切り機を使用した作業における災害事例
－加工作業中に切粉がはねて目に入った。
（症状：切れ、こすれ　目の角膜化学性結膜炎・角膜びらん）
→保護メガネを着用すること。

・配管作業における災害事例
－鋼管に継手をねじ込む作業にてヤトイ管を利用していた。ヤトイ管が継手から外れ手を負傷した。
（症状：手掌挫創）
→鋼管に継手をねじ込む際はパイプレンチを使用すること。

・ロウ付け作業における災害
－ロウ付け作業中に配管を固定している加熱された治具を素手で掴み火傷を負った。
（症状：熱傷Ⅱ度）
→火傷を防止するために保護具（皮手袋）を使用する。
→熱を加える作業は加工対象の材料だけでなく周囲の治具やレンガ等も高温になるので注意する。

加熱された治具を掴んだ